

○ 検疫くん蒸剤の安全使用技術確立事業委託費

【令和7年度予算概算決定額 10（－）百万円】

<対策のポイント>

輸入農産物に対する検疫くん蒸による環境・人への負荷を低減し、検疫くん蒸剤を安定的に利用することにより農作物の安定供給を図るため、**国内外の検疫くん蒸剤の排出ガスの回収や除毒等技術の開発・導入状況を調査・実証**するとともに、**農作物中の薬剤成分の残留量及び減衰傾向の特定に係る作物残留試験成績の整備**を行います。

<事業目標>

輸入農産物に対する検疫くん蒸による環境・人への負荷の低減、検疫くん蒸剤の安定的な利用による農産物の安定供給

<事業の内容>

検疫くん蒸剤の安全使用技術の確立

① 排出ガスの回収・除毒等技術の調査・実証

国際的にオゾン層破壊物質に指定され、排出量の削減等の技術開発が求められている臭化メチル等による検疫くん蒸の排出ガスの回収技術やガスの毒性を低減する技術等について、**国内外の開発・導入状況を調査し、日本に適用可能な技術の候補について実証試験を実施**します。

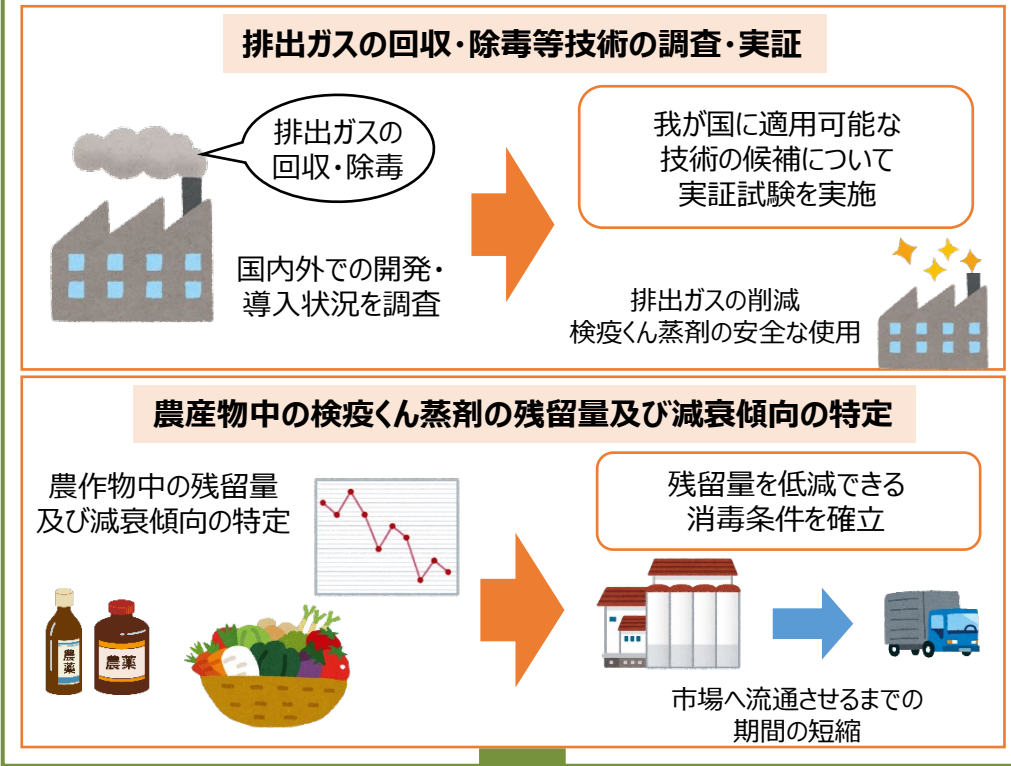
② 農産物中の検疫くん蒸剤の残留量及び減衰傾向の特定

一部の農作物では、検疫くん蒸剤の残留量が減衰しにくく、くん蒸終了から市場へ流通されるまで十分な期間を設ける必要があることから、残留量を低減できる消毒条件を確立するため、**農産物中の検疫くん蒸剤の残留量及び減衰傾向の特定に必要な作物残留試験成績の整備**を行います。

<事業の流れ>



<事業イメージ>



環境・人への負荷の低減、
検疫くん蒸剤の安定的な利用による農産物の安定供給

【お問い合わせ先】 消費・安全局植物防疫課（03-6744-7167）